

発行日: 2026-01-08

バージョン 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 Glucose-6-Phosphate Dehydrogenase (G6PD) Activity Assay Kit

製品番号 12581

キット構成要素
13865: Tris Assay Buffer
96772: G6PDH Substrate (40X)
80415: G6PDH Cofactor (100X)
49233: NADP+ (100X)
76535: G6PDH Developer (100X)
38611: G6PDH Positive Control (100X)
7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)

安全データシートの供給者の詳細

製造者

Cell Signaling Technology
3 Trask Lane
Danvers, MA 01923
United States
電話 +1 978 867 2300
ファックス +1 978 867 2400
メールアドレス

供給者

CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
笠原ビルディング10階 〒101-0047
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2: 中枢神経系、胃腸管(GI)、呼吸器	

GHSラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激

H319 - 強い眼刺激

H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じんを吸入しないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

キット 構成要素 49233: NADP+ (100X)

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
アセトン	1-5	-	-	67-64-1
Nadide Phosphate	60-<100	-	-	53-59-8

キット 構成要素 7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
フッ化ナトリウム	0.1-<1	-	-	7681-49-4
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェニル=エーテル	1	-	-	9002-93-1

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。
皮膚に付着した場合	直ちに石けん(鹸)と多量の水で洗うこと。炎症が続く場合は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	上下の瞼を持ち上げながら最低15分間多量の水で徹底的に洗浄すること。医師に相談すること。
飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼および皮膚を刺激する
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。

- 特有の危険有害性** 熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。
- 特有の消火方法** 水噴霧でドラムを冷却すること
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置** 消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

6. 漏出時の措置

- 緊急時対応要員以外の人用** 人員を安全な区域に避難させること。人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を使用する。十分換気されているか確認すること。粉じんの形成を避けること。適切な保護衣を着用している場合を除き、損傷した容器や漏出物には触らないこと。
- 緊急対応を行う者のための保護具** 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項** 地上水または下水施設に流さないこと。漏れた物質を泡で覆い、発火の危険性を低減すること。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。詳細情報については項目12を参照。
- 封じ込め方法** 安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
- 浄化方法** 液体漏出物を砂、土又はその他の不燃性の吸着材料で覆うこと。回収して適切に表示された容器に移すこと。
- 二次災害の防止策** 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項** 産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を着用する。取扱い後はよく洗うこと。十分換気されているか確認すること。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。

保管

- 保管条件** 容器を密封して換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** シャワー
洗眼場
換気システム

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
アセトン 67-64-1	TWA: 200 ppm; TWA: 475 mg/m ³ ;	500 ppm	TWA: 250 ppm STEL: 500 ppm
フッ化ナトリウム 7681-49-4	-		TWA: 2.5 mg/m ³ F

生物学的許容値

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
アセトン 67-64-1	40 mg/L - urine (Acetone) - within 2 h prior to end of shift	25 mg/L - urine (Acetone) - end of shift

12581 - Glucose-6-Phosphate Dehydrogenase (G6PD) Activity Assay Kit

フッ化ナトリウム 7681-49-4		2 mg/L - urine (Fluoride) - prior to shift 3 mg/L - urine (Fluoride) - end of shift
-----------------------	--	--

環境ばく露防止 情報なし

保護具

呼吸用保護具 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 不浸透性手袋

眼及び／又は顔面の保護具 密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

キット 構成要素 物理状態 外観 色 pH - 値 1	13865: Tris Assay Buffer 液体 無色透明 無色 8
キット 構成要素 外観 色	96772: G6PDH Substrate (40X) 粉末、凍結乾燥したケーキ 白色
キット 構成要素 外観 色	80415: G6PDH Cofactor (100X) 粉末、凍結乾燥したケーキ 黄色
キット 構成要素 外観 色 融点/凝固点 溶解度	49233: NADP+ (100X) 粉末、凍結乾燥したケーキ オフホワイト 135 - 136 °C 水に可溶
キット 構成要素 外観 色	76535: G6PDH Developer (100X) 粉末、凍結乾燥したケーキ グレー
キット 構成要素 外観 色	38611: G6PDH Positive Control (100X) 粉末、凍結乾燥したケーキ 白色
キット 構成要素 物理状態 外観 色 pH - 値 1	7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X) 液体 無色透明 無色 7.5

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし

安定性 通常の条件下で安定

危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	極度の温度及び直射日光
混蝕危険生成物	強酸化剤
危険有害性分解生成物	熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある: 窒素酸化物(NO _x)、二酸化炭素、酸化リン

11. 有害性情報

急性毒性

成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
アセトン	= 5800 mg/kg (Rat)	> 15700 mg/kg (Rabbit)	= 50100 mg/m ³ (Rat) 8 h
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	= 1700 mg/kg (Rat) = 1800 mg/kg (Rat)	-	-
フッ化ナトリウム	= 52 mg/kg (Rat)	= 175 mg/kg (Rat)	-

症状 眼および皮膚を刺激する

製品情報

経口 出荷時の製品に由来する危険有害性はない。

吸入

キット 構成要素
吸入 **49233: NADP+ (100X)**
気道刺激を引き起こすおそれがある

キット 構成要素
吸入 **7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)**
蒸気またはミストを吸い込まないようにすること

皮膚接触

キット 構成要素
皮膚接触 **49233: NADP+ (100X)**
刺激を生じるおそれ

キット 構成要素
皮膚接触 **7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)**
皮膚に触れないようにする

眼接触

キット 構成要素
眼接触 **49233: NADP+ (100X)**
刺激を生じるおそれ

キット 構成要素
眼接触 **7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)**
刺激を生じるおそれ

皮膚腐食性／刺激性

キット 構成要素
皮膚腐食性／刺激性 **49233: NADP+ (100X)**
皮膚を刺激する

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

キット 構成要素 49233: NADP+ (100X)
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 眼を刺激する
 性

キット 構成要素 7018: PathScan® Sandwich ELISA Lysis Buffer (1X)
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 眼を刺激する
 性

呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 情報なし

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

キット 構成要素 49233: NADP+ (100X)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 中枢神経系
 胃腸管(GI)
 呼吸器

誤えん有害性 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 この製品の環境に与える影響は完全には調査されていない。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
アセトン	-	LC50: 4.74 - 6.33mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: 6210 - 8120mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =8300mg/L (96h, Lepomis macrochirus)	EC50: 10294 - 17704mg/L (48h, Daphnia magna) EC50: 12600 - 12700mg/L (48h, Daphnia magna)
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェ ニル=エーテル	-	LC50 8.9 mg/l (Pimephales promelas) 96 h	EC50 26 mg/l (Daphnia) 48 h
フッ化ナトリウム	EC50: =272mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: =850mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus)	LC50 530 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 180 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 38 - 68 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 830 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h	EC50 98 mg/L (Daphnia magna) 48 h EC50 338 mg/L (Daphnia magna) 48 h

残留性・分解性 情報なし

生態蓄積性

12581 - Glucose-6-Phosphate Dehydrogenase (G6PD) Activity Assay Kit

化学名又は一般名	分配係数
アセトン	-0.24

移動性 情報なし

他の有害影響

化学名又は一般名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本-内分泌かく乱物質情報
ポリ(オキシエチレン)= p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル) フェニル=エーテル	Endocrine disrupting properties, Article 57f - environment	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テ トラメチルブチル)フェニル=エーテ ル 9002-93-1	1	第1種指定化学物質	408

労働安全衛生法

化学名又は一般名	区分	含有率 %
アセトン 67-64-1	安衛法表示対象物質 (令和7年 4月1日以降)	1-5
ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テ トラメチルブチル)フェニル=エーテル 9002-93-1	安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降)	1
フッ化ナトリウム 7681-49-4	安衛法通知対象物質 / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく不浸透性の保護具等の使用義務 物質	0.1-<1

16. その他の情報

発行日: 2026-01-08

改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

* 皮膚兆候

Ceiling:

+

最大限值:

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)

危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

RTECS (化学物質毒性データ総覧)

世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終